

沖縄全戦没者追悼式、中学3年の相良倫子（りんこ）さんが、詩の朗読を行いました。6分か7分、一度も原稿を見ずに感情豊かに、美しい沖縄を、焦土と化した恐ろしい戦火の様子を、未来への誓いを見事に詠い上げました。

大切な今よ
かけがえのない今よ

私の生きる、この今よ。

七十三年前、

私の愛する島が、死の島と化したあの日。
小鳥のさえずりは、恐怖の悲鳴と変わった。

優しく響く三線は、爆撃の轟に消えた。

青く広がる大空は、鉄の雨に見えなくなっ

た。
草の匂いは死臭で濁り、
光り輝いていた海の水面は、

戦艦で埋め尽くされた。
火炎放射器から吹き出す炎、幼子の泣き

声、
燃えつくされた民家、火薬の匂い。

着弾に揺れる大地。血に染まった海。
魑魅魍魎の如く、姿を変えた人々。

阿鼻叫喚の壮絶な戦の記憶。

みんな、生きていたのだ。
私と何も変わらない、

懸命に生きる命だったのだ。
彼らの人生を、それぞれの未来を。

疑うことなく、思い描いていたんだ。
家族がいて、仲間がいて、恋人がいた。

仕事があった。生きがいがあった。
日々の小さな幸せを喜んだ。手をとり合っ

て生きてきた、私と同じ、人間だった。
それなのに。

壊されて、奪われた。
生きた時代が違う。ただ、それだけで。

無事の命を。あたり前に生きていた、あの
日々を。

戦力という愚かな力を持つことで、得られる
平和など、本当は無いことを。

平和とは、あたり前に生きること。
その命を精一杯輝かせて生きることだとい
うことを。

私は、今を生きている。

みんなと一緒に。

そして、これからも生きていく。

一日一日を大切に。

平和を想って。平和を祈って。

なぜなら、未来は、
この瞬間の延長線上にあるからだ。
つまり、未来は、今なんだ。

大好きな、私の島。

誇り高き、みんなの島。

そして、この島に生きる、すべての命。
私と共に今を生きる、私の友。私の家族。

これからも、共に生きてゆこう。
この青に囲まれた美しい故郷から。

真の平和を発進しよう。

一人一人が立ち上がって、
みんなで未来を歩んでいこう。

摩文仁の丘の風に吹かれ、
私の命が鳴っている。

過去と現在、未来の共鳴。

鎮魂歌よ届け。悲しみの過去に。
命よ響け。生きゆく未来に。

私は今を、生きていく。

新潟県長岡市の花火のこと

元井 茂

毎年8月2・3日に信濃川河川敷で大花火大会が開催されます。日にちが決まっているのには理由があります。1945年8月1日午後10時にアメリカ軍の空襲があり、長岡市は甚大な被害と多数の死傷者を出しました。戦後の復興と死者への鎮魂と慰霊、何より平和を祈願する思いから1947年に復活し、現在に至っています。観光としての見せる花火は本来の目的ではないのですが、多くの人たちに趣旨を理解してもらい、花火そのものに感動してもらえらるのなら、開催の意義は達成されます。約2時間の打ち上げ花火でそれぞれに特徴がありますが、放浪の画家・山下清が遺した言葉を深く味わってほしいものです。

「みんなが爆弾なんかつくらないで、きれいな花火ばかりつくっていたら、

きっと戦争なんて起きなかったんだな」

平和の象徴こそ花火なんだと思います。いつまでも花火大会が続くことを願っています。

沖縄慰霊の日 平和の詩「生きる」

浦添市立湊川中3年 相良倫子さん



生きる

私は、生きている。
マントルの熱を伝える大地を踏みしめ、
心地よい湿気を孕んだ風を全身に受け、
草の匂いを鼻孔に感じ、
遠くから聞こえてくる潮騒に耳を傾けて。

私は今、生きている。

私の生きるこの島は、
何と美しい島だろう。

青く輝く海、

岩に打ち寄せしづきを上げて光る波、

山羊の嘶き、

小川のせせらぎ、

畑に続く小道、

萌え出づる山の緑、

優しい三線の響き、

照りつける太陽の光。

私はなんと美しい島に、
生まれ育ったのだろう。

ありったけの私の感覚器で、感受性で、
島を感じる。心がじわりと熱くなる。

私はこの瞬間を、生きている。

この瞬間の愛おしさが
今と言う安らぎとなり

私の中に広がりゆく。

たまらなく込み上げるこの気持ちを
どう表現しよう。

摩文仁の丘。眼下に広がる穏やかな海。
悲しくて、忘れることのできない、この島の
全て。

私は手を強く握り、誓う。
奪われた命に想いを馳せて、
心から、誓う。

私が生きている限り、
こんなにもたくさん命を犠牲にした戦争
を、絶対に許さないことを。

もう二度と過去を未来にしないこと。

全ての人間が、国境を越え、人種を越え、宗
教を越え、あらゆる利害を越えて、平和であ
る世界を目指すこと。

生きる事、命を大切にできることを、
誰からも侵されない世界を創ること。
平和を創造する努力を、厭わないことを。

あなたも、感じるだろう。

この島の美しさを。

あなたも、知っているだろう。

この島の悲しみを。

そして、あなたも、

私と同じこの瞬間（とき）を

一緒に生きているのだ。

今と一緒に、生きているのだ。

だから、きつとわかるはずなんだ
戦争の無意味さを。本当の平和を。
頭じゃなくて、その心で。



鎮魂慰霊の花火「白菊」
(最初に打ち上げます)



長岡花火の象徴「正三尺玉」
(手前は長生橋)



復興祈願の花火「フェニックス」
(中越地震と水害からの復興)